



令和 6 年 8 月 28 日

長期療養生徒の教育を変革するために岡山大学とベネッセ社が連携

◆発表のポイント

- ・岡山大学と株式会社ベネッセコーポレーションが連携し、長期療養を行う高校生へ教育機会を提供。
- ・ベネッセ社のオンライン講義の受講をもって出席とし、留年回避を目指す取り組みを開始。
- ・患者の体調や治療スケジュールに合わせた柔軟な学習が可能となるだけでなく、教育現場の負担軽減と教育の質向上を同時に実現。

2023 年 4 月の文部科学省の方針変更により、病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業配信を可能とする制度改正が行われ、オンデマンド型授業でも単位認定が可能となりました。しかしながら、個別の授業コンテンツ作成は、患者が在籍する学校の教員に任されており、教員の負担増加につながる大きな障害となっています。そこで、岡山大学学術研究院医歯薬学域の長谷井嬢准教授は、長期入院中の高校生を対象とした新たな教育支援プログラムを 2024 年 8 月より開始しました。

このプログラムは、通信教育最大手の株式会社ベネッセコーポレーションと連携し、ベネッセの多様な教育コンテンツを活用し、生徒の体調や治療スケジュールに合わせた学習を可能にします。これにより、長期療養中の生徒が留年することなく学業を継続し、卒業できる道を開くと共に、学校教員の負担軽減も実現します。

◆研究者からのひとこと

これまで、長期にわたる闘病というつらい期間を経たうえに、更に留年を課されるといった、非常につらい状況が続いています。オンライン授業も増えてきましたが、同時双方向による授業を受けることは、日々体調が変化する長期療養患者さんには難しいことも多く、課題となっています。闘病中の高校生たちが教育を受ける機会を失わないことは、彼らの未来への大きな一歩となります。本プログラムは、医療と教育のデジタル化における重要なマイルストーンであり、生徒の QOL 向上だけでなく、教育システム全体の革新にもつながる可能性を秘めています。ベネッセとの連携により、高品質な教育コンテンツを柔軟に提供できるようになり、生徒一人ひとりのニーズに寄り添った支援が可能になります。



長谷井准教授



PRESS RELEASE

■発表内容

長期療養を受ける生徒に対する教育支援には、これまで多くの課題が存在していました。特に、高校生向けの院内学級はほとんど存在しないことや、同時双方向を原則とするオンライン授業の時間的制約は大きな障壁となっていました。2023年4月の文部科学省の方針変更により、長期の治療を要する高校生が病院や自宅でオンデマンド型の授業を受ける際でも、単位の認定が可能となりました。しかし、このオンデマンドコンテンツの作成と管理は、多くの場合、担任教師の追加業務となり、教育現場の労働環境悪化につながる懸念がありました。

この問題を解決するため、岡山大学の長谷井准教授は、ベネッセコーポレーションと連携し、オンライン教育コンテンツを提供し、留年を回避するための教育支援を行うこととしました。この活動のポイントとして以下の点が挙げられます。

ベネッセの多様な教育コンテンツの活用

生徒の体調や治療スケジュールに合わせたオンデマンド学習

在籍校での単位認定に適した詳細な受講履歴の提供

教育者の負担軽減と教育資源の効率的配分

ベネッセの教育コンテンツは文部科学省の学習指導要領に基づいて作成されているため、在籍校での単位認定もスムーズに行えるようになります。このプログラムにより、長期療養中の高校生は、自身の体調に合わせて授業を受けることが可能であり、闘病中の患者さんに寄り添った教育提供が可能となります。さらに、この取り組みは、担任教員が教育コンテンツを用意する負担がないため、教育現場の労働環境改善にも貢献し、より多くの学校が長期療養生徒への教育支援に積極的に取り組める環境づくりにつながると期待されます。

本取り組みは、試験的に2025年度末までを期限として、全国から希望する患者さん、もしくは高校を募集し実施予定です。参加をご希望の方は岡山大学学術研究院医歯薬学域の長谷井准教授までご連絡ください。

<社会的な意義>

本研究の成果は、デジタル技術を活用した教育と医療の統合的な支援モデルの普及と発展に大きく寄与します。これまで入院中の学習努力が報われず留年を余儀なくされてきた生徒たちに新たな希望をもたらし、教育の機会均等を実現する重要な一歩となります。今後は、この連携を通じて得られた知見や技術を教育界全体で共有し、遠隔教育の発展につなげていくことが期待されます。

■研究資金

本研究は、「日本生命財団児童少年の健全育成 実践的研究助成」の支援を受けて実施されます。



<お問い合わせ>

岡山大学 学術研究院医歯薬学域 (医)

医療情報化診療支援技術開発講座

准教授 長谷井 嬢

(電話番号) 086-235-7273 (メール) py3g9rcw@s.okayama-u.ac.jp



Japan.
Committed
to the SDGs



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

